



校長室だより 令和5年3月8日

令和4年度も、あと3週間ほどで終わろうとしています。みなさんにとっては、進級という大きな節目を迎える季節となりました。この通信も、いよいよ今年度の最後の号となります。全校集会の開催を控えてきた中で、みなさんに伝えたいことをつづってきました。今回のテーマは「誇(ほこ)り」です。

自分に「誇り」をもつ

コロナ禍の中ではありましたが、今年度も、可能な範囲で学校・学年の行事に取り組んできました。そこで自分の役割を果たしているとき、みなさんは、自分の立場を考え、自分の役割を理解し、そして最善の自分を出すように努力してきたことと思います。

時を同じくして「地球」という惑星に住む私たちは、「地球という同じ船の乗組員」として、一人一人が自分の役目を果たさなければなりません。では、自分の役目とは何でしょうか。その答えは、みなさん自身の中にあります。そして、みなさん自身にもまだはっきりと見えていないかもしれません。

今、みなさんが様々なことを学んでいるのは、実は、「自分さがし」をしながら、自分の役目を求めている行為なのです。自分の良さ、持ち味をしっかりと理解して、それを発揮できたら、どんなにか素晴らしいでしょう。あと1か月もすると、また、新たな生活がスタートします。ぜひ、自分に「誇り」をもって、毎日「自分さがしの旅」をしてください。時には、様々な苦難が立ちはだかることもあるかもしれませんが。乗り越えるのに勇気が必要な時もあるかもしれません。もしかすると、「自分さがし」は一生続くことなのかもしれません。ただ、まちがいなく言えることは、「自分さがし」の連続が自分自身の「誇り」を高めるということです。

令和5年度を迎えるにあたり、「自分に誇りを持てる」みなさんであり続けてください。

3.14 第42回 卒業式

歳月の流れは速いもので、3年生とお別れする日が迫ってきました。

3年生の中には、すでに進路が決定した人もいれば、これから最後の入試に臨む人もいます。

思えば、小学校卒業前からの臨時休業、中学校入学後もたび重なる学級閉鎖・オンライン授業など、多くの制約が続きましたが、3年生のみなさんは「今、できることを精一杯やる」という姿勢で、いつも笑顔を絶やさずに取り組んでくれました。特に今年度は、生徒会・委員会・部活動などにおいても、1・2年生をよくリードし、鹿中の伝統を受け継ぎながら「後輩とのきずな」という成果を残してくれました。

3年生は、まもなく、それぞれが選んだ進路に向かって出発します。この3年間、とりわけ「感染症と向き合いながら」取り組んだ様々な活動だったからこそ、そこで培われた「きずな」が、これからの人生の大きな支えになることでしょう。

1・2年生のみなさんは、卒業までの残された日々を先輩とともに大切に過ごしましょう。次は、みなさんが先輩のがんばりを引き継ぐ番です。

保護者の皆様へ

平素は本校教育にご支援・ご理解を賜り、誠にありがとうございます。

学校評価アンケートの回答にご協力いただき、ありがとうございました。

「生徒・保護者アンケート」の結果・分析は、学校ホームページの「2022年度学校評価」に掲載します。今後の教育活動に活用させていただきます。

いよいよ今年度もあと少して終わります。お子様も、気持ちの切り替えがとりわけ必要な時期となります。引き続き、ご家庭でもお子様との対話を通して、ご支援いただきますようよろしくお願いいたします。